AsiaNet 98611（2776）

アデコグループが2022年第3四半期決算を発表

【チューリヒ2022年11月3日PR Newswire＝共同通信JBN】

ハイライト

＊報告された売上高は16％増、営業日数調整後の既存事業のTDAは前年同期比6%増

＊アデコの成長リーダーシップ：第3四半期の相対的な売上高伸び率は前四半期比500 ベーシスポイント（bps）上昇、年初来では1300 bpsの上昇

＊既存事業粗利益は前年同期比5％増、正社員人材紹介事業の手数料は前年同期比23％増

＊粗利益率はビジネスミックスとプライシングに支えられて21.0％と好調

＊一時的要因を除くEBITA利益率は通貨交換レートと生産性が順次好転したのを受けて3.6%と堅調。前年同期比の変化はアデコとLHHの投資計画と、特別項目からの受け取り分減少を反映

＊営業利益は1億6400万ユーロ：ベーシック1株当たり利益（EPS）は0.65ユーロ：調整後のEPSは前年同期比17％減の0.90ユーロ

＊AKKAは順調な軌道に：2023年売上高シナジーで得られるのは4000万ユーロ超：2022年末の総EBITAシナジーランレートは4000万ユーロ超

アデコグループ（Adecco Group）は3日午前9時30分（中央欧州時間）から事業の最新情報説明会を開催する。

＊グループの最高経営責任者（CEO）と最高執行責任者（CFO）が、組織の簡素化、経営の改善、市場シェア拡大手段の優先順位決定を行い、財務状況を改善させて方法について、3つのグループにまたがる方策を展開しながら、計画の詳細を説明する。

＊2024年半ばまでに1億5000万ユーロのランレートを目標とする、グループの一般管理費節減計画が発表される。

アデコグループのDenis Machuel CEOは次のように述べた：

「グループはアデコ事業での成長リーダーシップの立場を回復させるという約束を実現し、今四半期に力強く前進した。グループのAkkodis グローバルビジネスユニット（GBU）は引き続き好調な業績を上げ、AKKAの統合はシナジー獲得を含め、これまで通りに堅調な軌道に乗っている。LHHでのデジタル投資は、EzraとHiredがいずれも健全な成長を報告して、確固たる勢いを示した」

「今後、すべてのGBUで成長を加速し、EBITA利益率をトップクラスの水準まで持ち直すことを決意している。こうした優先課題を念頭に置き、本日、アデコグループの経営を強くするための詳細な運用計画を発表する。Future@Work Reloadedと名付けられた計画は、既存戦略の履行を加速し、外部からの逆風を前にして回復力を強化し、営業と財務の両面で業績を改善していく。私は当社の資産の質を確信しており、この計画によってわれわれの可能性を解き放ち、グループを前進させて約6％のEBITA利益率を達成することを約束する」

プレスリリース全文は以下から：

<https://www.adeccogroup.com/investors/results-reports-and-events/>

メディアウェブキャストの詳細は以下から：

<https://event.choruscall.com/mediaframe/webcast.html?webcastid=GeD24qkP>

投資家およびアナリストのウェブキャストの詳細は以下から：

<https://event.choruscall.com/mediaframe/webcast.html?webcastid=uFv8gOD8>

▽メディア問い合わせ先

Investor Relations

+41 (0)44 878 88 88

Logo - <https://mma.prnewswire.com/media/1197818/The_Adecco_Group_Logo.jpg>

ソース：The Adecco Group